

地域密着型サービス評価の自己評価票

(☐ 部分は外部評価との共通評価項目です)

取り組んでいきたい項目

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
I. 理念に基づく運営				
1. 理念と共有				
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	施設長、職員ともいつでも対応、情報交換できるようにしている	○	職員一人ひとりが理念に従い支援を行っています
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念を壁に掲示しいつでも目にとまるようにしている 出勤しいつも気に留めるように心がけている	○	共有できていない時もある もっと分かりやすく取り組み行えたらいい
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	地区の方が入所者様の方に対して理解して下さっています 地区行事に積極的に参加し交流を図っていききたい	○	家族や職員が話しやすい環境づくりに努め地域の方々が気軽に立ち寄れる施設でありたい
2. 地域との支えあい				
4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	開放された環境づくりに努めている 知人の方など見えられた時は、あいさつや施設の様子など会話の機会を持つようにする	○	日常的な付き合いはあまり出来ないが散歩に出た際、野菜をいただいた事がある そんな付き合いをしていきたい
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	祭り事、老人会、運動会など積極的な参加を行っている	○	今後も地域に少しでも参加できるように取り組んでいきたい

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	台風の時などは、施設に声を掛けていただき大いに利用して頂くよう連絡を入れている	○	何らかの形で地域に役立っていけるように常に気にとめていきたい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	利用者様の個人の情報を知り一人ひとりの暮らしやすい環境づくりに努めている	○	一人ひとりの訴えを傾聴し職員間で話し合いながら取り組んでいる
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	結果を議事録によって職員間に知らせ、カンファレンスにおいて取り上げて検討している	○	出来るだけ全職員で会議に関わっていけるように検討していきたい
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	研修があれば参加している こちらから機会をつくり行き来する事は少ない	○	分からないことについては、電話で聞くなどしているが出来るだけ機会をつくって行きたい
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	研修の機会があれば積極的に受けている 玄関に制度についてのパンフレットを置いている	○	成年後見人制度について話を持ちかけた事があるがその時は、すでに利用されていた 必要に応じて支援していきたい
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	機会があれば研修に参加している	○	声掛けにも気をつけていきたい

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制				
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	不安や疑問点を尋ね重要事項に基づいて説明を行っている	○	契約後も後本人やご家族の面会時などに気付いた事や不安について尋ね声掛けしていきたい
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	玄関に苦情投函箱を設置している	○	利用者様の訴えがある時は、傾聴し対応している
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	体調不良時、突発的な出来事があった場合は、電話で早めに状況報告を行っている 職員の移動については特に対応していない	○	日常の写真や手紙を請求書に添えて送っている
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	玄関に苦情投函箱を設置している 苦情などあったときにはカンファレンスを行う	○	苦情等があった時には職員間で周知徹底できるように努めていきたい
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	情報によりの確なアドバイスを受ける 他グループホームとの交流会も行っている	○	職員の意見をもっと取り込んでいきたい
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	利用者の要望に応じた対応が出来ている ドライブ等は事前に話し合い計画を立てるようにしている	○	状況に合わせ話し合い、職員の確保が出来ている
18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	必要に応じて早めに利用者様に伝え、理解して頂いている	○	今までにも職員の移動はあったが大きな影響は見られていない

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援				
19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職務に合った研修会等に参加する機会を与えられている	○	研修会や勉強会への取り組みに意欲的である
20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	連絡協議会への参加、他施設を訪問するなど今後の取り組みに役立てられるように努めている	○	他施設との交流の機会を多くもちたい
21	○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	音楽を聴く ストレスをためない様に職員間で話し合っていくようにしている	○	休憩をしっかりと取れるようにしている
22	○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	花壇づくり、菜園作りと楽しく働ける環境が出来ている	○	各自が向上心を持って働けるように努めたい
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応				
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	会話の機会を多く持ちかけ話しやすい環境づくりに努めている	○	傾聴し対応することで少しずつ落ち着かれていくようです
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	入所時によく聴くように努めている 面会に見えられ時に日常をお伝えしご家族からも話しやすい環境づくりに努めている	○	今後も些細なことでも聴き出しケアに反映していきたい

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	要望を聴いた上で、カンファレンス等で検討し支援に努めている	○	努力していきたい
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	ご本人やご家族の希望を尊重しサービスを提供できるように努めている ご本人の様子をご家族に伝え相談している	○	他の利用者様との交流(リハビリ体操や歌をうたったり)しながら馴染んで頂いている
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	ご本人の意思を尊重し、出来る事は実施してもらい出来ない時は一部介助又は、アドバイスしながら実施している	○	利用者様の知恵を頂きながら野菜作りや団子作りを行っています
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	面会時、個人の日常を伝え共に、共感できる雰囲気作りに努めています	○	ご家族の協力を頂きながら今以上に深く関わっていただきたい
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	ご家族等の面会時、笑顔で会話されている よりよい関係が支援できていると思う	○	ご家族と利用者様との架け橋となるよう支援していきたい
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	居室に家族の写真等を飾る 誕生会など行事に参加頂けるようお知らせするなどの働きかけを行っている	○	希望される時は、馴染みの自宅や周辺まで同行している
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	お茶の時間や歌をうたう時、お手伝いを願う際にも実施している 個人に合った仕事を見つけてあげるよう努めている	○	談話されていたり、他者の車椅子を押して下さったりと支え合う場面がある

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	気軽に来所して頂けるよう、職員一同常に同じ気持ちを持っている	○	大切にしていきたい
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	出来るだけ把握に努めているが難しいところもある	○	本人の希望や思いにそってコミュニケーションを図り、暮らしやすい生活作りを目指していきたい
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	把握に努めているが一度にたくさんの情報を得ることは難しいこともある 毎日の暮らしの中で得ることもある	○	これまでの暮らしについて、たとえば親戚であつたり、住環境であつたりと情報を具体的に把握していきたい
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	把握するように努めている	○	毎日の記録により職員一同がその日の状態を把握できている
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	毎月カンファレンスを実施 面会時、家族の意向等を受けて検討し対応している	○	職員間の情報が共有できるようにしている
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	今のところ、現状維持の方が多く特変なく過ごされている 大きな変更もなく継続することもある	○	変化があればカンファレンスを行い見直しを行っている

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別記録や申し送りノートなどで情報は共有でき計画の見直しに活かせると思う	○	実際、細かいプランの見直しが出来ていない
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	状況に合わせカンファレンスを行い検討している	○	当施設で対応できることは支援していきたい
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	いつでも必要に応じて受け入れる体制はある	○	近隣中学生との交流や体験学習、消防訓練など
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	今の所、特にない	○	必要があれば支援していきたい
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	今の所、特にない	○	必要があれば支援していきたい
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医との連絡がいつでも取れる態勢にある	○	必要に応じて受診に同行、支援している

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	指定医療機関との連携によりいつでも相談できる態勢にあるので安心できている	○	かかりつけ医が精神科医であり強力支援頂いている
45	○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	地域の看護職と気軽に相談できる機会は少ないが他科受診の付き添いやDr.との連絡等常に対応できている	○	日常の健康管理は職員全員、把握できているよう支援している
46	○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	常時、利用者様や家族との連携を蜜に行い相談し安心して療養できるようにしている	○	状態や入院期間についての連絡を取りその後の話し合いについても行っている
47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	早めにご家族に相談を行っている できる限界のところまでケアしていきたい	○	終末期に向けた話し合いを職員間で行っている
48	○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	ターミナルケアについて職員間、かかりつけ医と共に話し合いを持ち今後についての支援に取り組んでいる	○	特に夜間勤務が一人になるので一人ひとりについてケアしていく事はむずかしい ご家族の協力がないと出来ないことだと思う
49	○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	ご本人が納得して入所されるのが一番だと思いますが、ご本人やご家族と連絡を取り合っています	○	出来るだけ使い慣れた持ち物を持ってきて頂く様、お伝えしている

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅳ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
1. その人らしい暮らしの支援				
(1)一人ひとりの尊重				
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	言葉掛けは個人の性格を知り気を悪くされないように気遣っている	○	職場を離れ口外することはない
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	支援をしている	○	ご本人の希望があれば出来るだけ応じてますが出来ない時は、分かりやすく説明を行っています
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ご自分のペースで過ごして頂いているが、希望に沿って支援できているとは言えない	○	ご本人のペースに合わせよう過ごしていただくか希望をもっと取り入れていきたい
こ				
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	ご家族が行きつけのお店に連れて行かれたり、面会時に散髪して下さる	○	希望により髪染めや散髪などホーム内で行っています
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	旬の物を活かした献立、趣向、希望を聞きながら食事に取り入れています	○	積極的に食事の準備、片付け等手伝って下さりお願いしています
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	趣向に合わせて工夫を行っているが一人ひとりの状況に合わせられない時がある	○	これからも本人の趣向に合わせたサービスが少しでも支援していけたらいい

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	毎日、排泄チェックを記録してその人にあった対応を行い、排泄ができている	○	布パンツを基本に考え対応していますが、緩下剤など服用時はオムツを使用することもある
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	ご本人の希望を取り入れ、それに沿うように行っている タイミングを合わせ入浴して頂いている利用者様もいる	○	週に1度、入浴の休みを取り入れている
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	一人ひとりの様子を見ながら本人のペースで入眠できるよう支援している	○	不眠時は、ホットミルクや梅酒をすすめる どうしても眠れない時、話を傾聴したり部屋を訪室してみたりする
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	出来るだけ支援できるように努めているがもっと一人ひとりに対しての細かいケアが出来るとよい	○	帰宅願望の強い方に対して、ドライブを兼ね住み慣れた場所へ出かけて行きたい
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	事務所にて預かったり、ご自分で管理されている方、買い物時に同行し手渡しして買い物される方、それぞれに支援を行っている	○	御自分で管理されている利用者様は、外出時に所持し自分の買い物をされている
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	ご本人の要望があればご家族との連絡をとる 気分に合わせて外出する 月4～5回外出する際には声掛けし一緒に買い物に出かけています	○	月に1～2回は、ドライブや外食に出かけたい
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	希望により出来るだけ日程等を決めそれにそえるように実施している	○	ご家族も一緒に同行できるように働きかけていきたい

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	いつでも対応できている	○	代筆により手紙のやり取りの支援ができればいい
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	季節に合った花を敷地内に植え玄関や居室内に切花を飾ったり施設の臭いがしないように工夫を行っている	○	多数の面会があった時には椅子やテーブルが足りなくなりご家族に申し訳ない時がある
(4) 安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	見守り、確認を行いながらその方にあった介護プランで対応をおこなっている	○	拘束はないです
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中は常時、鍵を掛けずに開放している	○	ただ、利用者様の状態によりやむを得ず玄関に鍵を掛けることがある
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	日中の様子や体調を確認しながら安全確保を行っている	○	夜間においても定期的に見守りを行っている
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	出来るだけ利用者様の手の届かない所に保管し、カーテンで目隠しをしている 常時使用する物については職員がいつでも目の届く所に置いている	○	いつでも危険性があることを意識した対応を行っていきたい
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	月1回の転倒防止委員会に参加、カンファレンスで話し合ったり、日常のケアサービスにおいても気をつけて取り組んでいる	○	事故防止への意識を持ち今後も取り組んでいきたい

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	防災訓練や救急法の勉強会を年1～2回行い、取り組んでいる	○	いざという時にきちんとした対応が出来るか自信がなくもっと頻回な勉強会とシュミレーションが必要
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	緊急連絡網の作成 運営推進会議を通して地域の区長さんや防災課など話し合いお願いしている	○	利用者様一人ひとりに手作りの防災グッズを準備している
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	必要に応じてご家族と話し合いを持つようにしている	○	抑圧感のない暮らしを大切にしていきたい
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	バイタルチェックや日中の様子を記録、記入、申し送りによりいつでも対応できるようにしている	○	変化が見られる時は、バイタル確認しDr.に連絡を取り指示を頂いている
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	各個人の服薬の経歴や説明が職員間で把握できるようにしている 変更のあった際には、申し送りノートや口頭にて確認ができるようにしている	○	服薬の効用、目的についてもっと深く知識を持ちたい
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	排泄チェックにより一人ひとりの状態が見れる食事では繊維ものを多く取り入れるように工夫している 午前中は出来るだけ体操を行っている	○	水分補給に努めている ご家族の協力で便秘が改善された方もいる
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後、一人ひとりに付き添い口腔ケアを実施している	○	利用者様に合った歯ブラシを使用している

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	摂取量チェックを行っている 状態に合わせ補助食品を取り入れている 又、食器器具の工夫と食事の形態、体重の変化に気をつけている	○	趣向にも配慮しながら支援している
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	感染マニュアルを作成している 必要に応じて勉強会を開き実践している	○	感染源を広げないために透明袋にタオル、手袋、エプロン、ハイター等すぐ持ち出せるように準備している
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	新鮮なものを使用し、残食を残さないようにしている 食器や布巾は毎日、日光や熱湯消毒し清潔にしている 手洗い実施	○	冷蔵庫に残っている物は、定期的に確認、処分し清潔に心がけている
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関は、いつもオープンにしている 庭木、花、造花(匂い付き)、壁掛け、写真等飾っている		出来るだけ家庭的な雰囲気を出していきたい
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	花や写真を飾っている 生活感がありゆっくりとできていると思う	○	ホールと台所が一緒なので調理の音や香りも楽しめていると思う
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ソファの設置にて自由に腰掛けられているが居場所として細かい工夫は取り組めていない	○	皆さん、ホールで過ごされているが居室に籠もらずゆっくりと過ごせる場所を提供してあげたい

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	使い慣れた物を持ち込んで頂いている 衣類などの整頓はできるだけお任せし見守るように配慮している	○	仏壇や写真など飾られている 実際、タンスを購入してこられる方が多い 古いものでも使い慣れた物を持ってこられるようにお伝えしていきたい
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	天候にあわせ窓を開けて喚起を行っている 又、こまめに温度調整を行っている	○	気になる臭いがある時は、市販の物を利用したり日に干したり洗淨したりと工夫をしている
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	工夫している	○	バリアフリーにて段差なく手摺においても検討し後日、取り付けた箇所もある
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	ポータブルトイレや洗い水の設置をしている	○	時々、部屋を間違われる利用者様には出入り口に目に付きやすい物を下げています
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	敷地は広くのびのびとした空間があるが活動にはあまり活かしていない 周りに植えられた花を見たり、年に1～2回位、外で昼食をするくらい	○	芝なので車椅子が使用しにくい 畑があるので利用者様を巻き込み楽しみたい

V. サービスの成果に関する項目			
項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる		①ほぼ全ての利用者の
		○	②利用者の2/3くらいの
			③利用者の1/3くらいの
			④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある		①毎日ある
			②数日に1回程度ある
		○	③たまにある
			④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている		①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
		○	③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている		①ほぼ全ての利用者が
		○	②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と
			②家族の2/3くらいと
			③家族の1/3くらいと
			④ほとんどできていない

項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている		①ほぼ毎日のように
			②数日に1回程度
		○	③たまに
			④ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている		①大いに増えている
		○	②少しずつ増えている
			③あまり増えていない
			④全くいない
98	職員は、生き活きと働けている		①ほぼ全ての職員が
		○	②職員の2/3くらいが
			③職員の1/3くらいが
			④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う		①ほぼ全ての利用者が
		○	②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う		①ほぼ全ての家族等が
		○	②家族等の2/3くらいが
			③家族等の1/3くらいが
			④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

環境がとてもよく職員も明るく生き活きと活動的で気持ちが良い 家族とも仲良く共に信頼しあっていると思う
 空気も良く自然と触れ合うことができる 朝には鳥がさえずりが心地よい
 この環境に恵まれた施設での生活を楽しんで頂けるように今後も取り組んでいきたい